

規則正しく！より速く！より正確に！ ～秋季消防演習～



速さと正確さを競い合いました

9月6日(日)、南三陸町消防団秋季消防演習がスポーツ交流村多目的広場を会場に開催されました。今回は、第2回分団対抗小型ポンプ操法競技が12チームの参加で行われ、小型ポンプにホースを接続、延長し放水するまでの一連の動作を行い正確さと速さを競いながら、統率の取れた操法を披露しました。競技成績は次のとおりです。

- 第1位 第9分団 (伊里前上班、管の浜班)**
指揮者：阿部満義班長、1番員：及川英雄団員、2番員：高橋 智団員、3番員：阿部一彦団員、補助員：内海利典団員
- 第2位 第8分団 (上沢班、石泉班)**
指揮者：及川和夫班長、1番員：山内靖裕団員、2番員：及川 清団員、3番員：山内貴文団員、補助員：小野久弥団員
- 第3位 第7分団 (清水班、細浦班)**
指揮者：熊谷直人班長、1番員：安部 晃団員、2番員：木下 学団員、3番員：佐藤一典団員、補助員：大森和弘団員



親子三代の牛。真ん中の牛がおばあさん

黒毛和牛の ミス・ミセスが大集合！

8月28日(金)、旧入谷農協裏の特設会場で「第11回南三陸畜産共進会」が開催されました。この共進会は、黒毛和牛を4つの部門に分けて、畜産農家が飼育する牛の発育状況や体の美しさを競い合うもので、町内及び登米市津山町から33頭の牛が出品されました。

会場には、日ごろから愛情を込めて育て上げた牛が、今日のためにきれいにブラッシングされて勢ぞろい。戸倉の佐藤喜信さんは、親子三代の牛を出品し、そのうちの2頭が入賞するという快挙を成し遂げました。各部門のチャンピオン賞は次のとおりです。

- 【県内産 繁殖未經産の部】**
名号：ふくこ 飼育者：山内敏郎さん (㊟官方)
- 【県内産 繁殖経産の部】**
名号：ひなか 飼育者：佐藤喜信さん (㊟田子沢)
- 【県外産 繁殖未經産の部】**
名号：まゆ5 飼育者：山崎勝則さん (㊟水口沢)
- 【県外産 繁殖経産の部】**
名号：さくらの3の5 飼育者：西條貞男さん (登米市津山町)



体積や品位などの8項目による審査が行われました。

ユーモアあふれる仮装パレード

8月29日(土)、志津川高校の生徒の皆さんによる、クラス対抗町内仮装パレードが行われ、アニメのキャラクターなどに扮したユーモアあふれる仮装とパフォーマンスで、沿道の皆さんを楽しませました。

このパレードは、翌日開催される志津川高校文化祭「旭ヶ浦祭」の宣伝を兼ねて毎年行われているもので、沿道から声援を送る皆さんに、どのクラスの仮装が1番楽しかったかの採点をお願いしました。

集計の結果、「マリオwithせんとくん」をテーマに仮装した3年4組が優勝しました。



優勝した3年4組の仮装。
左の人は「ピーチ姫？」だそうです

みやぎ生協と 災害時の協力体制を協定

9月1日(火)、役場大会議室において「災害時における応急生活物資供給等の協力に関する協定調印式」が行われました。

この協定は、大規模災害の発生により生活物資等が不足した際に、町が要請することにより、みやぎ生活協同組合から食料品や生活用品を優先的に供給していただけることなどを内容とするものです。町長とみやぎ生活協同組合の齋藤理事長は協定書への調印が終わるとがっちり握手をし、今後の協力体制を誓い合いました。



入谷八幡神社 秋の例大祭

9月13日(日)、入谷八幡神社の例大祭が行われ、県の無形民俗文化財に指定されている伝統芸能の「入谷打囃子」が奉納されました。

秋晴れに恵まれたこの日、今年の当番である「桜葉沢打囃子講」の一行は、旧林際小学校を出発し、道中所で打囃子を披露しながら渡行し、「入谷八幡神社」と、年に一度神様が旅に出かける所とされる、中の町の「1本松」で打囃子を奉納しました。

毎年、大勢の参観客で賑わう祭りで、今年も、大勢のカメラマンや家族連れがにぎやかな祭りを楽しみ、豊作と家内安全などを祈願しました。



無事に大きく育てね！

9月10日(木)、名足小学校5年生22人が、中山漁港でクロソイの稚魚の放流体験をしました。

放流体験は、県と町が町内の小学生を対象に毎年行っているもので、この日は体長10センチほどに成長したクロソイの稚魚が1,000匹用意され、子どもたちは、人数分のバケツに稚魚を分けもらい岸壁から放流すると、海中に泳いでいくクロソイを静かに見守りました。三浦怜くん(㊟田の頭)は、「無事に育て、大きくなったら僕に釣られてほしいなあ」と笑顔で話してくれました。